

詳しくは
ホームページで!

2018年
4月
認証制度の
応募開始

「健康な食事」

通称

Smart Meal
スマートミール

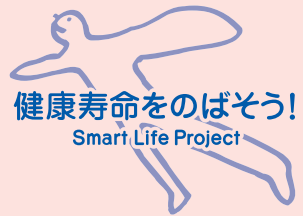
賢く食べて健康に!の意を含んでいます

スマートミールを、健康的な環境で
毎日継続的に提供することは
お客さまの食生活改善のお手伝い。

健康寿命を伸ばすには
一人ひとりが生活習慣をよくする
ことに加え、健康的な職場づくり
や社会環境づくりが重要です。

「健康な食事・食環境」認証制度は
企業が進める健康経営を
食生活の面から応援する制度です。

「健康な食事・食環境」 認証制度はじまります!



外食・中食・事業所給食で、
「健康な食事（スマートミール）」を、
継続的に健康的な環境で提供する
店舗や事業所を認証する新しい制度です。



2018年3月14日のプレス発表で提供したスマートミール
(女子栄養大学レストラン 松柏軒 調製)

7つの学協会からなる
「健康な食事・食環境」コンソーシアム
が審査・認証を行います。

コンソーシアム参加団体

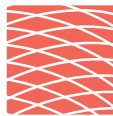
- ・日本栄養改善学会
- ・日本給食経営管理学会
- ・日本高血圧学会
- ・日本糖尿病学会
- ・日本肥満学会
- ・日本公衆衛生学会
- ・健康経営研究会

コンソーシアムは、スマート・ライフ・プロジェクトの
登録団体として、皆さまの健康づくりを応援します。



主食

ごはん、パン、めん類などで
炭水化物を多く含み、
エネルギーの
もとになります。



主菜

魚や肉、卵、大豆製品などを
使ったおかずの中心となる料理で
たんぱく質や脂質を
多く含みます。



副菜

野菜などを使った料理で
ビタミンやミネラル
食物繊維などを
多く含みます。

食事をおいしく、バランスよく

主食・主菜・副菜は、健康な食事の第一歩

本事業は、厚生労働省 健康日本 21（第二次）の目標の1つであり、また、第3次食育推進基本計画の目標でもある
「主食・主菜・副菜を組合せた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合を増やす」を応援するものです。

「健康な食事・食環境」認証制度とは？

外食・中食・事業所給食で、スマートミールを、継続的に、健康的な環境で提供する店舗や事業所を認証する新しい制度です。7つの学術団体からなる「健康な食事・食環境」コンソーシアムが審査・認証を行います。スマートミールは、健康に資する要素を含む、栄養バランスのとれた食事です。つまり主食・主菜・副菜のそろった食事のことです。

「スマートミール Smart Meal」の基準とは？

スマートミールとは、健康に資する要素を含む栄養バランスのとれた食事の通称です。スマートミールの基準は、厚生労働省の「生活習慣病予防その他の健康増進を目的として提供する食事の目安」（平成27年9月）や食事摂取基準2015年版を基本とし、さらに給食会社4社の実際のヘルシーメニューの献立分析を行って決定した基準であり、料理・食品の構成は以下のとおりです。

- (1) エネルギー量は、1食当り450～650kcal未満（通称「ちゃんと」）と、650～850kcal（通称「しっかり」）の2段階とする。
- (2) 料理の組み合わせの目安は、①「**主食+主菜+副菜**」パターン、②「**主食+副食（主菜、副菜）**」パターンの2パターンを基本とする。
- (3) PFCバランスが、食事摂取基準2015年版に示された、18歳以上のエネルギー産生栄養素バランス（PFC%；たんぱく質13～20%E、脂質20～30%E、炭水化物50～65%E）の範囲に入ることとする。
- (4) 食塩相当量は、「ちゃんと」3.0g未満、「しっかり」3.5g未満とする。
- (5) 牛乳・乳製品、果物は、基準を設定しないが、適宜取り入れることが望ましい。
- (6) 特定の保健の用途に資することを目的とした食品や素材を使用しないこと。

1食あたりの提供エネルギー量（2段階）による分類

①「**主食+主菜+副菜**」パターン

項目	食品等	「ちゃんと」 450～650kcal 未満 (参考) 飯の場合 1食当り150～180gが目安	「しっかり」 650～850kcal (参考) 飯の場合 1食当り170～220gが目安
主食	飯、めん類、パン		
主菜	魚、肉、卵、大豆製品	(参考) 60～120g	(参考) 90～150g
副菜1 (付合せ等)	野菜、きのこ、いも、海藻	140g以上	140g以上
副菜2 (小鉢・汁)			
食塩	食塩相当量	3.0g未満	3.5g未満

注) 副菜は、副菜1を主菜の付合せ等とし副菜2を独立した小鉢とする方法、或いは副菜1と副菜2を合わせて1つの大きな副菜とする方法など、メニューにより自由に工夫をしても構いません。

②「**主食+副食（主菜、副菜）**」パターン

項目	食品等	「ちゃんと」 450～650kcal 未満 (参考) 飯の場合 1食当り150～180gが目安	「しっかり」 650～850kcal (参考) 飯の場合 1食当り170～220gが目安
主食	飯、めん類、パン		
副食 (主菜・副菜(汁))	魚、肉、卵、大豆製品	(参考) 70～130g	(参考) 100～160g
	野菜、きのこ、いも、海藻	140g以上	140g以上
食塩	食塩相当量	3.0g未満	3.5g未満

認証基準とは？

店舗や事業所の認証基準は以下のとおり、必須項目とオプション項目があります。
 必須項目を満たしていると ★ の店舗として認証されます。
 さらにオプション項目 5 項目以上で ★★
 オプション項目 10 項目以上で ★★★ とランクアップします！

		外食	中食	給食	
必須項目	「スマートミール」の基準	1 スマートミール（基準に合った食事）を提供している	○	○	○
		2 スマートミールの情報を提供している	○	○	○
	「スマートミール」のプロモーション	3 スマートミールに「おすすめ」と表示するなど、選択時にプロモーションされていることがわかる	○	○	○
		4 スマートミールの選択に必要な栄養情報等を、店内、カタログ、注文サイト等メニュー選択時にわかるよう提供している	○	○	○
	「健康な食事・食環境」の運営体制	5 スマートミールを説明できる人が店内にいる（中食の場合、問合せ窓口がある）	○	○	○
		6 管理栄養士・栄養士がスマートミールの作成・確認に関与している	○	○	○
		7 店内禁煙である	○	—	○
オプション項目	「スマートミール」の展開	8 スマートミールの主食が週3日以上、精製度の低い穀類を含む	○	○	○
		9 スマートミールの主食の選択肢として、精製度の低い穀類を提供していることがメニュー選択時にわかる	○	○	○
		10 スマートミールの主食量を、選択または調整できることがメニュー選択時にわかる	○	○	○
		11 スマートミールの主菜の主材料として、週3日以上、魚を提供している	○	○	○
		12 スマートミールの主菜の主材料として、週3日以上、大豆・大豆製品を提供している	○	○	○
		13 スマートミールに、栄養成分表示（エネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、食塩相当量）を示している	○	○	○
	「健康な食事・食環境」の推進	14 スマートミールの栄養成分表示に、飽和脂肪酸の量を示している	○	○	○
		15 スマートミールが1日2種以上ある	○	○	○
		16 スマートミールを選択するためのインセンティブがある	○	○	○
		17 メニューに漬物や汁物をつけられないことができ、メニュー選択時にわかるように表示している	○	○	○
		18 ソースやマヨネーズなどの調味料を別添えて提供している	○	○	—
		19 野菜 70g 以上のメニューを提供している（サラダバーを含む）	○	○	○
		20 牛乳・乳製品を提供している	○	○	○
		21 果物を提供している（シロップづけを除く）	○	○	○
		22 減塩の調味料を提供している	○	○	○
		23 卓上に調味料を置いていない	○	—	○
		24 食環境改善のための会議等を定期的で開催している	○	○	○
		25 従業員に対し、事業所（会社）から食費の補助がある	—	—	○

※ 基準の詳細は、ホームページ（<http://smartmeal.jp/>）で応募要項、Q&A をご確認ください。

対象基準項目 24 22 24

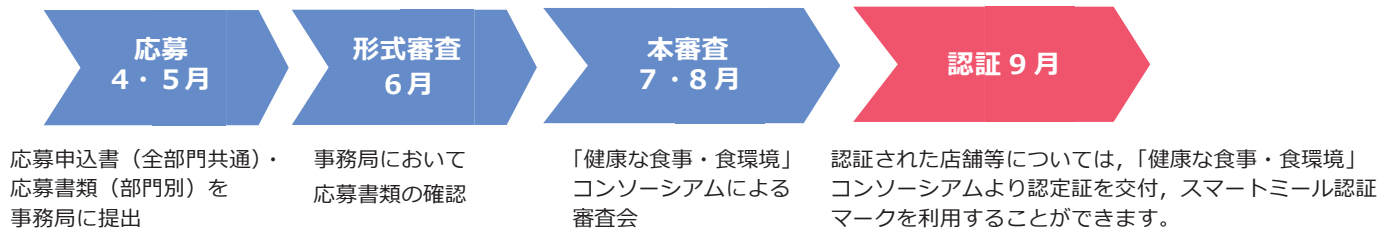
スマートミールだけで、健康になったり、生活習慣病を予防できるわけではありません。

健康づくりには、スマートミールのような、栄養バランスのとれた食事を継続的に食べ、積極的に身体を動かし、禁煙、節酒を心がけるなど、適正な生活習慣が重要です。

認証までの流れ

※ 応募は、毎年1回4月～5月末まで、
2018年度に限り、4-5月と、10-11月の2回応募期間があります。

2018年（第1回）



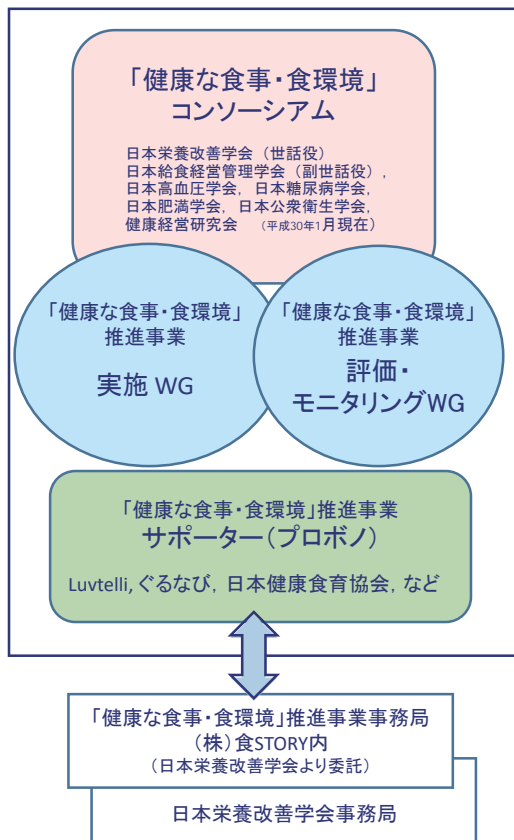
応募及び審査に費用はかかりません。

認証期間は2年間です。

2年経ったら、継続のためには再申請が必要となります。

認証期間中に届け出内容に変更等が生じた場合には、事務局にその旨を連絡の上、変更届を提出する必要があります。

「健康な食事・食環境」推進の組織体制



本制度は、複数の学会、さまざまな団体・企業の連携・協力により運営されています。

制度の周知では、株式会社ぐるなび、一般社団法人 Luvtelli (代表理事：細川モモさん)、一般社団法人日本健康食育協会 (代表理事：柏原ゆきよさん) など、サポーター (プロボノ) の皆さまの力を借りています。

本制度の趣旨にご賛同くださり、サポーターに加わってくださる団体・企業さまがあれば大歓迎です。

事務局までご一報ください。

問合せ先：

「健康な食事・食環境」推進事業事務局

株式会社 食STORY 内 担当：米倉

〒102-0074 東京都千代田区九段南3丁目3-14
フラット九段南 801号

TEL：03-6261-0418 FAX：03-6261-0417

メール：info@smartmeal.jp

URL：http://smartmeal.jp/



詳細は、HPをご覧ください。

「健康な食事・食環境」推進事業ホームページ
http://smartmeal.jp/